

第8回 災害復旧技術講習会(2026年1月29日)

近年、全国各地において激甚な自然災害が頻発しており、被災市町村における災害復旧事業については、災害査定などの普段体験しない迅速な対応と膨大な実務が求められています。

この様な中、当協会では、平成29年九州北部豪雨災害により被災した福岡県の朝倉市や東峰村に対して、災害復旧技術専門家と連携を取りながら、災害復旧の支援活動を行ってきました。

これらを踏まえ、九州7県の市町村職員や災害復旧事業に携わる技術者の方々を対象に、年2回(6月及び1月頃)災害対応能力の向上に資することを目的として、会場とWeb併用の講習会を開催しています。

8回目となる今回は、災害査定受検後のフォローアップや災害査定業務の軽減に向けたDXの活用事例等の紹介が行われ、会場からは、それぞれの現場に即した質問が続き大変盛況を博しました。

受講者160名(会場45名、Web115名)で、行政職員(国県市町村)が全体の2/3以上を占める望ましい受講結果となりました。

【 挨拶 】



(一社)九州地域づくり協会
田中 慎一郎

【 講師 】



災害復旧技術専門家 後藤 信孝 氏
国土交通省 九州地方整備局 長崎県 土木部 河川課 矢羽田 成巧 氏
長崎県 土木部 河川課 近藤 慎吾 氏
(一社)九州地域づくり協会 秀徳 典穂



講習会の様子



カリキュラム

- ①「令和7年最新情報及びよくある事例(失格・欠格事例)等について」、
- ②「応急仮工事・応急本工事について」及び ③「改良復旧事業について」
災害復旧技術専門家 後藤 信孝 氏
- ④「今年度のTEC-FORCE活動(災害対応)と取得データの活用」
国土交通省 九州地方整備局
災害対策マネジメント室 課長補佐 矢羽田 成巧 氏
- ⑤「長崎県版スマート化査定について」
長崎県 土木部 河川課 河川防災班 主任 近藤 慎吾 氏
- ⑥「令和7年災害等への支援」
(一社)九州地域づくり協会 企画課長 秀徳 典穂

【アンケート結果(一部抜粋)】

- ・最近の災害の情報やデータを知ることが出来た。
- ・最新情報をととても解りやすく説明されてありがたい。
- ・自治体での災害査定DX推進の重要性がよく理解できた。
地域特性も踏まえ、推進していく必要があると思った。
- ・事例に基づく解説は非常に説得力があり、平時からの備えと現場力の向上が復旧の迅速化に繋がることを再認識した。
今後の業務に積極的に活かしていきたい。
- ・九州各地の災害復旧工事の取り組みを知ることができ参考になる。